

サイバー大学

学生一人ひとりの強みや特長にフォーカスを当てたキャリア支援

自分のペースで学び、
自分らしくキャリアを形成する

サイバー大学は文部科学省の認可を受け、2007年4月に開学した日本初のフルオンライン大学です。IT総合学部IT総合学科の1学部1学科から成り、約4200人の学生が学んでいます。「履修登録をはじめ日々の受講や試験、成績の確認等は、本学が独自に開発したeラーニングプラットフォームのCloud Campusで行います。このシステムを活用することで、授業はすべてオンデマンド形式のフルオンラインで学修が可能となり、学生は入学から卒業まで通学不要で、いつでも・どこでも学修することができます。このような学修環境を求めて、本学にはさまざまな状況や立場の方が入学され、卒業をめざしています。そのため、本学のキャリア



学生部
キャリアサポートセンター長
日高 智運 氏



オンライン相談に対応する日高氏

支援には、年齢、地域、障がいの有無等を問わず、あらゆる学生に対する万全な受け入れ体制と多様な柔軟な支援が望まれています」と説明するのは、キャリアサポートセンター長の日高智運氏。多様な学生が学んでいる同大学では、新卒採用希望者に対する就職活動の支援に力を入れて、社会人学生に対する転職活動の支援やキャリアアカウンセリングにも力を入れています。「本学のキャリアサポートセンターは、在学生のみならず卒業生の利用も認めており、卒業生のキャリア支援にも力を入れています。障がいのある学生のなかには、大学での学修と就職活動を並行して進めることが難しいと訴える方が少なくありません。このような場合、まずは日々の学修に専念してもらい、卒業に向けて着実に前進するようにアドバイスしています。無事に卒業が決まると、学修

をやり遂げたという大きな成功体験から自己効力感が醸成され、それが就職活動に対するモチベーションにつながり、卒業後まもなく就職決定につながる卒業生も多いです」(日高氏)

学生の強みを活かす キャリア形成支援を卒業後も継続

年齢、地域、障がいの有無等を問わず、あらゆる学生のキャリア支援に応じるため、同大学では、積極的に外部の専門機関との連携も図っています。「専門機関は特定分野に対する知見をお持ちであるため、各専門機関と連携してキャリア支援を進めることで、一人ひとりの学生に応じたキャリアサポートの実現に努めています。障がいのある学生に対するキャリア支援においては、就職活動の流れを伝えるキャリアガイダンスや、一人ひとりの学生の希望に合わせた求人紹介等を専門機関と連携して開催しています」(日高氏)

また、同大学のキャリアサポートセンターには、キャリア支援のプロである国家資格キャリアコンサルタントの有資格者と、心理支援のプロである公認心理師・臨床心理士の有資格者が在籍しており、協働して学生



を支援している。「障がいのある方のキャリアは多様化が進んでいます。自宅で働くことができれば、自分が学んできたことや磨いてきたスキルを発揮することができるといっても少なくないのではないかと思います。本学の卒業生には、在学中に学んだITスキルを活かして、現在是在宅勤務でITエンジニアとして活躍している方も少なくありません。本学のキャリアサポートセンターでは、障がいの有無にかかわらず、どんな人にも得手不得手があり、それがその人らしさや個性であると考えています。私たちは学生との個別面談に力を入れており、個々人の強みや特長を活かした自分らしいキャリア

形成を一緒に考え、実現に向けたサポートを行っています」(日高氏)

さらに同大学には、卒業後も継続して一部の講義科目を視聴することができる生涯学習プログラムや、科目等履修生としての再入学制度等があります。卒業後も継続する学修支援とキャリア支援により、学生一人ひとりの豊かなライフキャリアの実現をサポートしています。

MESSAGE

学生へのメッセージ

興味や関心の先にある 自分らしい働き方を考えよう

4年間の大学生活のなかでは、ぜひさまざまな学びや学内外での活動に積極的にチャレンジしてみてください。これまでやりたかったことにも挑戦し、さまざまな経験を通じて多くの人に出会うことで自分をより深く理解し、興味や関心を明確化しましょう。興味や関心が明確化されたら、私たちキャリアサポートセンターと一緒に、あなたの興味を活かした自分らしい働き方について考え、実現に向けたアクションプランを策定し、具体的な行動に移していきたいと思います。私たちは皆さんが自分らしい働き方を見つけ、満足のいくキャリアを築くためのサポートを全力で行います。